

Taketa City Gikai News

市民との意見交換会

特集号

平成27年3月1日発行

たけた 市議会だより

●竹田東部地域	2
●竹田西部地域	4
●竹田南部地域	5
●竹田北部地域	7
●荻地域	9
●久住地域	10
●直入地域	12



市民との
意見交換会
26.11.11~13



市民と協働の政策推進のために

議会改革調査特別委員会

委員長 佐田 啓一



平成25年に制定した竹田市議会基本条例の概要は次の通りです。

一、議会および議員の使命と活動原則

- 二、市民と議会の関係
- 三、市長等と議会の関係
- 四、議員定数と議員報酬

など十一章からなる議会と議員のあるべき姿を示した議会の最高規範であり、私も議会および議員は、この条例に則り市民の皆様の負託に応えるため、真摯に改革を進めています。

市長等と議会の関係においては、市政運営に関して議会は、市長とともに二元代表制の一翼を担う重大な責任があることから、自己研鑽、行政視察研修、全体又は会派ごとの勉強会等行う中で、行政監視能力や政策提言能力そして議員個々の資質の向上を目指しています。

議員定数については、次期改選期の1年前であります平成28年3月議会までに結論を出すこととしております。その他諸々について議論を進めているところです。

さて、市民と議会の関係では「議会は市民との意見交換会の開催等により、議会の活動に市民が参加できる機会を確保するとともに、市民の意見を反映させた政策提言の拡大を図る」ことを謳っています。

前回の意見交換会で出された意見・提言は、議会内に設置した「議会政策協議会」で十分議論し、

一、竹田市のこれからの農業政策についての提言書

二、岡城跡の整備と活用についての提言書

としてまとめ、昨年市長に対し提出しました。一部ではありますが既に具現化しています。

今回の「市民との意見交換会」においていただいた貴重なご意見・提言等につきましては精査し、この「特集号」で回答とさせていただきます。

議会は、市民の皆さんと協働し、皆さんの意見が反映される政策推進を目指します。引き続きご意見等を寄せて頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

竹田 東部

East Taketa

竹田・岡本・明治・豊岡 地域

日時 ■平成26年11月11日(火) 午後7時～

参加議員



岩屋 千利 (班長) 佐藤 美樹 和田 幸生 山村 英治 後藤 憲幸 中村 憲史



岡本分館

意見・質問等	意見・質問等への対応
24年災に集まった義援金は、ちゃんと被災者に届いているのか。	義援金配分委員会で、被災の程度に応じた配分計画を立て、公平に対応しました。24年災の義援金は93,739,985円で、そのうち73,360,000円をそれぞれの被災者に配分し、残り20,379,985円は市単独の農地災害復旧費として活用されています。
移住者が空き家に入る時に、いくら助成があるのか。	空き家への移住者に対する助成制度は次のとおりです。①「竹田市空き家改修事業補助金」として、購入した空き家の改修費用の一部を助成(限度100万円)、②「竹田市起業支援事業補助金」として、空き家や空き店舗を購入または賃貸し、起業に必要な経費を助成(限度100万円)。このほか、「竹田市空き店舗対策事業補助金」、「竹田市お試し暮らし短期滞在費助成金」等があります。
豊後高田市のように、官民一体で商店街振興に取り組むべきではないか。	竹田市では、商工振興につながる城下町再生事業に取り組んでいます。竹田商工会議所や竹田町商店街振興組合等と連携を持ち、官民一体の商店街振興となるよう取り組みます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
<p>南海トラフ地震、くじゅう山噴火に備えた防災マニュアルはあるのか。</p> <p>災害対策にもっと力を入れるべきではないか。市の危機管理担当2名では足りない。</p>	<p>地域防災計画の中では、地震対策、火山対策について整備されているが、今後、県の防災計画等との整合性を図りながら、防災対策を進めていきます。</p> <p>市の災害対策としては、有事の際は市を挙げて対処していくこととしています。</p>
<p>議員研修は、遠方に行く必要はない。</p>	<p>議員研修は、その内容により効果を判断すべきで、研修成果を市政に活かす活動とすべきであると考えます。</p>
<p>政務活動費をしっかりと使って、議員活動に専念すべきではないか。</p>	<p>政務活動費の使用は、議員個人の責任に委ねられており、その使用目的は、当然市政に反映されるべきものであると考えます。</p>
<p>特産物を活かしてきていない。集落営農を進めて、椎茸の共同乾燥場や共同圃場の整備をすすめてはどうか。</p>	<p>現在、集落全体で共同作業により椎茸栽培を行っている地区もあります。椎茸栽培は、生産者によって菌種や栽培技術が異なり、品質の統一化が難しい事もありますが、椎茸栽培に取り組む上では有効な経営形態と考えます。要望していきます。</p>
<p>米価の下落が著しい。補助金を出してほしい。</p>	<p>26年度産の米価減収分を補うために「収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)」が行われ、米の価格補填事業が実施される見込みとなっています。また、米価下落に係る稲作農家への支援は、新規融資として運転資金分に対し、近代化資金の利子補給を行っている状況です。竹田市単独での米価下落に対する補助金に対しては、多額の支出となり竹田市の財政を考慮すると、困難と思われれます。</p>
<p>岡城に観光客を呼ぶために具体的な施策を行ってほしい。</p>	<p>岡城趾観覧者数の数値目標を年間30万人と設定し、それに対応する施策を提言書にまとめ、平成26年10月29日に市長に提出しています。</p>
<p>創造の丘を岡城のガイダンスセンターとして再生できないか。</p> <p>またエコミュージアムの拠点として、情報センターにしてはどうか。</p>	<p>創造の丘の諸施設は、現状は有効利用されていません。今後の再利用計画については、エコミュージアム構想を含め調査研究を行います。</p>
<p>合併以降、市の財政力指数が低い。</p>	<p>平成25年度の財政力指数は0.236で、合併以降、年々低下しています。その主な要因として、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による税収の減、社会保障や福祉に関する財政需要の増加等が考えられます。今後とも、執行部と一体となった企業誘致や後継者対策、農村回帰事業等の取組を通して改善を図っていきます。</p>
<p>資産公開をするべきではないか。</p>	<p>資産公開は政治倫理の確立のためですが、市議会での資産公開は時期尚早と思われれます。</p>
<p>現図書館を保存してほしい。</p>	<p>新図書館建設後に、市民の皆さんの意見を聞きながら、具体的な方向を決める予定です。</p>
<p>文化会館の建設において、この予算で音響・照明のレベルが保てるのか。</p>	<p>音響や照明については、より良いものを目指して取り組む方向であるので、しっかりとチェックしていきます。</p>
<p>全国レベルのコンクールに対応できる施設を造ってほしい。</p>	<p>全国レベルを目指して、建設に臨んでいるので、議会としても調査・検討を重ねていきます。</p>

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・執行部のコピーでなく、議員独自の市政を望みます。もっと議会機能を発揮してほしい。
- ・議会だよりが、年々充実してきています。今後もよろしく。
- ・地域の活性化に向けた市民に対する指導性を強く打ち出すことを要望します。

【意見・希望等】

- 南海トラフ巨大地震に関する防災の取り組みについて、防災力の向上に対する具体的な施策など、市民一人ひとりの「減災取り組み意識」について、意見交換させて頂きました。
- 中心部ばかりの箱物だけでなく、地域への支援、利用をもっと考えてほしい。周辺地域には、昔ながらの良い物がたくさんあると思います。
- 竹田市は農林業が基幹産業です。稲作は勿論ですが、サフラン、椎茸、カボスなど全国に誇れる地場産業をもっと生かして、定住者増を図ってほしい。
- 私たち市民も市政にしっかり関心をもち、竹田の発展のため努力していかなければいけない。他人まかせではダメ。国が赤字なので、私利私欲に走らず、謙虚になって、未来を生きる人たちのため、文化をはじめ、知恵・英知を残していきたいと思う。
- 他に学ぶのはよいが、竹田の良さ(いいもの)は残す。新しいものを造るのではなく、古いものを生かす。

竹田西部
West Taketa

玉来・松本・菅生 地域

日時 ■平成26年11月11日(火) 午後7時～

参加議員



阿部 雅彦 (班長) 佐田 啓二 鷲司 英彰 渡辺 克己 坂梨宏之進 加藤 正義



玉来分館

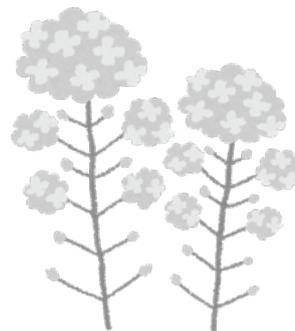
意見・質問等	意見・質問等への対応
市税の滞納や未収について。24年8月の市議会だよりでは、市税の滞納や未収が合計で約8億円となっていた。今後の徴収率の向上について、また、25年末で8億円の増減について数値で報告をお願いする。	滞納額や不納欠損額は年々圧縮されており、国保税を含む市税全体では、平成25年度滞納額は約6.9億円と金額的に減少してきています。「納税は国民の義務であり、税の公平性を確保しなければならない」ことを常に意識しながら、賦課・徴収に取り組んでいます。徴収義務については、滞納者に対する財産調査を行い、滞納処分(預金、給与等の差押など)を強化して滞納額の減少に一層努めていきます。
竹田市議会の行政視察費の上限は12万円となっている。視察の報告はどうなっているのか。また、その視察が市政にどう反映されているのか。	行政視察研修所感として、議長あてにそれぞれ議員個人名で報告をし、「議会だより」にも掲載している状況です。 行政視察研修の成果は、議員個人の質的な向上が図られるものであり、代表者質問・一般質問、更には各常任委員会においての質疑や施策に反映されています。
花水月について、経営状況も含め、現状報告がないのだがどうなっているのか。特別会計から一般会計になったため、分かりにくくなったのではないか。	市民の健康福祉に寄与する保健施設となり、一般会計としたものです。施設内には、商工観光課、観光ツーリズム協会、経済活性化促進協議会があり、費用は按分しています。入浴客数は現在10万人、26年度は12万人台まで伸びそうな予測を立てていますが、宿泊のない温泉施設では、入浴だけでは収支バランスが厳しいものがあります。燃料の高騰や修繕費、光熱費などで約7,900万円の支出、収入は約4,300万円の状況です。
萩の里温泉はいろいろ工夫してお客を集めている。花水月はどうか。	花水月では、各種コンサートイベントや市民ギャラリーを開催しています。市民の皆さんや観光客の交流施設、情報拠点、健康増進という面も考慮しながら、今後も利用客の増加に努めるよう要望します。
岡城の上(本丸の所)まで車で行けるようにしてほしい。	現在、道路の整備をしており、来年度(平成27年度)には実現可能です。
君ヶ園1号線は測量も終わった。その後の計画は。	平成27年度から着工予定です。
玉来グランドは、いつ頃整備される予定か。	来年度(平成27年度)予算に計上予定であり、予算の議会議決後に整備される見込みです。

意見・質問等	意見・質問等への対応
議会傍聴が少ないように思えるが。	傍聴者が多いことで、議員と執行部の論戦にも緊張感が生まれることから、多くの人に傍聴してほしいものです。ケーブルテレビで放送されるようになってから、傍聴者が少なくなったことは確かですが、できるだけ生の議会を見に来てほしいと思います。
一般質問が茶番劇のようである。ストーリーがすでに決まっているような感じがする。議会をもっと有効に運営してもらいたい。	代表質問・一般質問は答弁の正確性を求めることから、質問事項を事前に執行部に通告する通告制としています。質問形式は一問一答方式であり、質問と答弁を繰り返すことにより、市政上の論点及び争点がより深く明確にされていると考えます。
自治会長と議員の兼職は可能か。	法令上の制約はありません。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・住民意見の反映、積極的な政策提言、チェック機能。
- ・市民の要望を市政に反映させてほしい。
- ・非常に良い交換会でした。今後、機会を増やし実施していただきたい。
- ・チェック機能を十分に考えよう。
- ・議員の行政視察に行くのは良いが、その後の研修内容について、いかに活用しているか。また、実施すべきものはないか。
- ・執行部チェックをしっかりとってほしい。
- ・せっかく、執行部に質問を投げかけても、もっと突っ込んでもらいたい。



【意見・希望等】

- ・竹田観光周遊バスをしたが、なぜ直入スタートだったのか。不思議でした。竹田駅発着が本当では？
- ・3年前の災害により、家屋が水害により倒壊して家族を失った方、高齢の一人暮らしの方が、現在住んでいるところの便が悪く、空いている住宅を探している。市にも行って、今も探している。家賃が高く(3~5万円)入れない。困っている高齢者を、行政も親身になって相談にのってほしい。
- ・岡城の観光について、小型の乗用車4~5名で、裏道から本丸下までお客さんを運ぶ。観光料金に乗車券200円くらい。そのために、裏登城道の整備も必要だと思う。
- ・空き家について、屋敷の石垣が壊れると、下を通る人に危険が及ぶ。そんな所を修理するのに、補助はありませんか。
- ・玉来分館での意見交換会です。1時間半のうち、議員さんからの説明が1時間を過ぎていて、市民からの意見が30分とは、どんなこと。市政報告会ではないと思いますが、市民の意見を述べる時間が短い。市民にもっと述べさせてください。

竹田南部

South Taketa

入田・姫岳・宮砥 地域

日時 ■ 平成26年11月13日(木) 午後7時~

参加議員



阿部 雅彦 (班長) 渡辺 克己 日小田秀之 坂梨宏之進 加藤 正義 佐藤 美樹 鷲司 英彰



姫岳分館

意見・質問等	意見・質問等への対応
コミュニティーセンターは本当に必要か？	図書館、文化会館、コミュニティーセンター、それぞれの施設ごとに市民の代表者や有識者等を構成員とする部会が設置され、施設整備のあり方を議論しています。城下町再生プロジェクト委員会でも各施設等の機能の重複を避けるべく議論しています。議会としても主要公共施設調査特別委員会を設置し、調査研究を行い、検討していきます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
市の人件費が多い。課を減らし、人員削減をすすめるべきではないか。	合併後10年で100人削減しました。今後とも、計画的に進めていきます。
あ祖母学舎の指定管理について、他の指定管理施設も一律に委託料を削減されたのか。5年間に基本協定は教育委員会、年次協定は市と契約することになっているのはなぜか。	5年間の基本協定については、主管である教育委員会の提案により、議会の議決で決定されています。その後、年度協定は、竹田市との契約で指定管理料等の内容の決定がされています。尚、他の施設の指定管理料については、それぞれの施設ごとに考えられています。
会派に分かれる必要があるのか。会派構成に疑問を感じる。	政策を中心とした理念を共有した者で会派を作っています。メリットは会派での勉強会で、議題について掘り下げた研究ができます。また、会派ごとに集約した検討結果は、会派代表者会議において更に検討され、課題が整理され政策に反映できます。
議会の機能を果たしていないのでは。課題をしっかりと見つけて質問すべきではないか。	議会の最大の責務は、執行部に対してのチェック機能です。議員は市政全般の課題と市民の意見等を把握し、代表質問や一般質問、また、各常任委員において、執行部に質すなど機能を果たしています。
農業に従事する若者を育成してほしい。	国の事業として、45歳以下の就農者に対し、青年就農給付金が支給されます。新規就農、親元就農についても支給されます。農業後継者の育成のため、この事業についての周知をさせます。
米の作付条件に応じて、補助をするべきではないか。	中山間地域等直接支払交付金において、条件不利地に対しては、所得補償されているものと解釈しています。
米とカボスの販売に力を入れてほしい。	今後の米の消費動向やTPP交渉を見極めながら対応する必要があると考えます。また、カボスについては、生産者の高齢化に伴い生産量が減少している状況ではありますが、現状の生産量を維持しつつ、PRや販売の促進に努めるように要望します。また、加工品についても積極的に取り組むよう要望します。
岡城や歴史に興味のある若者は少ない。岡城整備に費用をかけないでほしい。	岡城跡の整備については、国からの予算と登城料金を充てるようにしています。議会としては、岡城跡を観光資源として重要な位置付けにあると捉えており、市民の皆さんから頂いた意見を基にして、平成26年10月29日、市長に岡城跡の活用と整備についての政策提言を行なっています。
岡城の全景が見えるようにしてほしい。登場料を市民から取らないでほしい。	今年度(平成26年度)予算から、石垣の全貌が見えるように伐採作業が段階的に行われています。登城料金については、岡城跡の環境整備のために必要であると判断しています。
防災について、避難所の見直しと指定施設へのテレビとAED設置を進めてほしい。	避難所については、随時見直しをしています。情報伝達手段としては、告知端末機の設置を進めます。AED未設置の施設には、整備の方向で要請していきます。
祖峰小学校の体育館のトイレを洋式にしてほしい。	学校施設においては、洋式トイレに整備する方向で考えられています。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・議員の定数を減らす。(人口の減少により)
- ・行政のチェック機能。
- ・市民の意見集約。
- ・執行機関のチェック機能。過程もチェック。



【意見・希望等】

- 説明より質疑時間を多くしてもらいたい。
- 各予算…無駄を追求し、有効に活用を。〔総務(給料等)の予算が大きい。〕
- 地域の活性化対策を強力に。特に若者が希望を持って働ける仕事を。高齢者の活性化(サポーターシステムには疑問)。
- 防災…各公民館(避難所)へ予算取りを。(車イス、救急箱、テレビ、ハンドマイク、電気ショック蘇生器等)
- 今後の人口減に伴う対処を。現実問題として、かなり厳しい課題がある。執行部と連携を。

**竹田
北部**
North Taketa

宮城・城原 地域

日時 ■平成26年11月11日(火) 午後7時～

参加議員



徳永 信二 (班長) 森 哲秀 本田 忠 日小田秀之 吉竹 悟 足達 寛康



文化財管理センター

意見・質問等	意見・質問等への対応
集落営農の在り方、農業を営む環境や対策を考えてほしい。	地域農業を守るためには、今後も集落営農の推進が必要不可欠であると考えます。併せて「人・農地プラン」や「農地中間管理機構」の制度の周知と推進に、今まで以上に努めるよう要望します。
高齢化で農道、水路、田の保全管理が難しくなる。対策を考えてほしい。	現状では多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用、地域の共同活動を推進しています。農地中間管理機構の制度を利用し、同時に集落営農を推進し、高齢化に伴い保全管理ができない圃場、農道、水路の維持に努めるよう要望します。
農業の補助事業を導入した場合の営農指導と販路の開発・拡大に力を入れるべきではないか。	営農指導と販路開拓については、農村商社わかば、JA販売を含め、市独自の動きも必要と考えます。JAや県と情報共有しながら、取り組んで推進するよう要望します。
獣害対策を考えてほしい。	集落環境対策、捕獲、防護柵の設置を継続的に行っています。新たな捕獲方法も計画されており、導入できるか検討し要望していきます。 実績(補助金)としては、24年度22,460,524円、25年度25,696,208円の状況です。
自治会の将来像、存続のための対策と自治会運営の方策は。	小規模自治会については、統廃合できるところから進めており、今後も統合補助金等を活用しながら、推進していきます。
通学路に横断歩道を設置してほしい。	通学路の安全については、教育委員会、警察、国土交通省、竹田土木事務所、竹田市建設課等で構成する竹田地区通学児童の安全確保対策会議を毎年行っています。要望箇所の横断歩道については、警察の許可事項となり、建設課を通じ要望しています。
文化財センターの下に50年程経つ枝垂れ桜があるが、杉の木で囲まれ枯れるのではないかと心配だ。市の方で杉を切ってほしい。	来年度(平成27年度)予算に計上予定であり、予算の議会議決後に伐採の見込みです。
新規就農者を増やすために、農業高校や実践大学の生徒を将来の後継者として育成するために、授業料の奨学金制度(返済義務のない)を創ってはどうか。	現在、地元農業高校の生徒には、年6万円の返済義務のない奨学金制度があります。また、独立就農を目指す農業大学の生徒には、国において、青年就農給付金準備型として、年150万円の給付制度があります。これらの制度を推奨し、多くの新規就農者を増やすよう要望します。

意見・質問等	意見・質問等への対応
今年の米価(4,350円)では米作農家は生活できない。対策を考えてほしい。	26年度産の米価減収分を補うために「収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)」が行われ、米の価格補填事業が実施される見込みとなっています。また、米価下落に係る稲作農家への支援は、新規融資として運転資金分に対し、近代化資金の利子補給を行っている状況です。新たな国の事業も出されていますが、米価の補助事業に対しましては、多額の支出となり竹田市の財政を考慮すると、竹田市単独では困難と思われます。
原発推進の財源があるのなら、国・県・市で予算を組み再生可能エネルギー政策を推進してはどうか、党派を超えて議論してほしい。	太陽光発電、小水力発電、風力発電、バイオマス発電等、地域資源を生かした、再生可能エネルギーの何が有効かを調査研究していきます。
古園は独居老人がいる、温泉施設を利用した生きがいサロンのような高齢者が有効に活用できるような施設等の充実をして頂きたい。	高齢者の皆さんの福祉や介護事業全般の在り方について検討していきます。
市内で就職する機会が増えれば、高齢化率も改善される。議員中心に企業誘致班を作り、誘致活動を行うのはどうか。	市議会は議決機関と位置づけられ、市のような執行機関ではありませんので、直接的な誘致活動を行う立場ではありません。しかし、竹田市にふさわしい企業の誘致については、実現に向けて、執行部と協力し取り組みます。
ケーブルテレビで議会の一般質問では議員の氏名は出るが、答弁者の名前も出してはどうか。	執行部に申し入れます。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・ 原点に戻って、頑張ってください。
- ・ 宮城地区は議員がないので、この様な機会を持って頂いてありがたく思います。頑張ってください。
- ・ イノシシ対策をしてほしい。
- ・ 市民との対話と、地域密着型の施策の実行。
- ・ 竹田市政を見る時、市長の「独断」と「偏見」が、施策のなかでチェックなしで暴走している感が拭えない。議員＝議会のチェック機能を高め、市長から一目も二目もおかれる権威＝力をつけてほしい。
- ・ 議事録作成の迅速化—議会終了後、次の議会開会前にきちんと作成し、閲覧できるようにしてもらいたい。
- ・ 党派にとらわれず、市民の目線を失うな…市民の痛苦を体してがんばる議員になってほしい。
- ・ 少ない議員さんで、良く勉強されていると思います。身体に気をつけて、益々ご活躍されてください。
- ・ 農林業の労働力不足。
- ・ 獣害対策 等々。
- ・ 執行部にドシドシ各種提言をしてもらいたい。

【意見・希望等】

- ・ 若人の働く場所。
- ・ 問題が多くて、時間が足りない。
- ・ 議会だよりに、市民との意見交換会の結果を広報してください。
- ・ 低米価対策…市段階では難しいと思うが、国に対して働きかける。このまま推移するなら、竹田市の過疎化・農地放棄は加速せざるを得ない!
- ・ 原発推進の九電に対して、再生可能エネルギーの推進に力を入れてほしい。
- ・ 広瀬中佐を竹田市生れで一番偉い人としての扱いの市長に対して、議会としての全く意見が聞けないのは残念…もっと日本の歴史、竹田の歴史としっかり向き合う議会、議員であってほしい。
- ・ 秋は芸能祭等、催し物が多いのは良いですが、観てくれる人が少ないのは残念です。年間の地区カレンダーを作成したらどうでしょうか?(市全地区)

- 参加者が少ないのは何故でしょうか？ 何か工夫があれば、又もう少し会場数を増やし、参加しやすい状況をつくることが必要と思います。
- いろんな行事に参加したいと思っても、生涯現役で出席できない人が多く、地域行事をしても参加者が少なく心配しています。
- 意見交換会の時間が短く、質問・要望をすることも限られている。まだまだ沢山ありますが…



荻 地域

日時 ■ 平成26年11月12日(水) 午後7時～

参加議員



徳永 信二 (班長) 山村 英治 後藤 憲幸 坂梨宏之進 森 哲秀 本田 忠



荻公民館

意見・質問等	意見・質問等への対応
<p>議員報酬について、職員が5%削減した時、報酬は3%政務活動費を2%削減して現在に至っているが、これで議会改革といえるのか。職員給は生活給、議員は報酬、自らが身を削り、パート事務員を減らしたりしていかないと、市民は納得しないのではないか。議会として検討してほしい。</p>	<p>議員報酬(一般議員34万円)については、合併時の28議席から22議席、18議席と8年間で10の定数減を行い、総体では36%の予算縮減に取り組んできました。議員年金は廃止、その上での減額は新たな人材の出馬が期待できないなどの理由により、現行を維持することとしました。</p>
<p>他地域からの参入者には厚い保護や補助があり、農業後継者に対してはそれがない。農業後継者が育ち、結婚子どもを育て、農業が活性すれば、将来豊かな竹田市にきつとなる。このことを議会で検討してほしい。</p>	<p>親元就農に関しては、他地域からの農業参入と同等の施策が国において事業化されています。親元の経営内容や状況により、就農条件が大きく異なります。親元就農においては、円滑な就農を促すため、個別の指導が必要と思われます。農政課に個別指導するように要望します。</p>
<p>岡城の再整備については、自分たちが主体でやろうという街中の人たちの意識を高揚させていかなければ出来ないのではないか。本庁舎前で祭りを企画しても、街中の人参加は少なかった。</p>	<p>岡城・歴史まちづくりの会をはじめとする市民団体の活動も出てきており、これまで以上に行政と市民が一体となって活動ができるように、議会としても取り組みます。</p>
<p>政務活動費の支出の方法を議会で考えてみてほしい。 10頁にある常任委員会視察旅費を別に計上してある。削減を求めているのではないが、市政に反映する視察をしてほしい。</p>	<p>常任委員会での視察研修は、常任委員会単位の問題点について視察研修を行っています。政務活動費については、議員個人又は会派単位で政治活動に要した経費が対象となります。いずれも市政に反映される活動内容でなければなりません。</p>
<p>竹田高校が今年定員割れをする、次の募集は無くなるのではないかという情報は持っているのか。</p>	<p>現在のところ、定員割れにより募集が無くなることはない状況ですが、今後議会としては、執行部と協力して定員割れを防ぎ、竹田高校の存続に向けた取組を進めていきます。</p>

意見・質問等	意見・質問等への対応
特色ある農業政策について、早々に議会をあげて対応してほしい。	1.集落営農の推進による荒廃地対策 2.農業従事者の確保と後継者の支援 3.高度利用可能な農地の確保 4.農業用施設の改良支援 5.六次産業化の推進 以上5つの項目を掲げた「竹田市農林業の活性化に向けた提言書」を、平成26年10月29日に、市長あてに提出しています。
ふるさと納税に応じて、贈答の品はあるか。	ふるさと納税の平成25年度実績は、18件、3,080千円。市議会でも、ふるさと納税について議論してきました。今後とも、同制度の有効活用のため、現在ある贈答品のほかに、更に魅力ある特産品の情報等を全国に発信し、納税額の増加に向けて取り組みます。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・若い人達が住むまちに、輝くような竹田市に、全力で取り組んでいる姿を見せたい。

【意見・希望等】

- ・小・中学生との意見交換会などはどうですか。
- ・地域のことを議員さんと一緒に考えるよい機会だと思いますが、参加者が少なく残念です。
- ・もっと多くの皆さんが参加できるといいですね。
- ・議員の方からしか聞けないことがあると思います。それを今日は聞けました。
- ・提言書について、市側に具体例は示しているのでしょうか。資料P16-1「離農者の雇用場所の創出」→そもそも離農させないことが大切なのは。農業従事者へ手厚い支援を。「～の支援」の具体例を知りたい。

荻・久・住

久住

Kuju

久住 地域

日時 ■平成26年11月12日(水) 午後7時～

参加議員



阿部 雅彦 (班長) 鷺司 英彰 吉竹 悟 足達 寛康 後藤 憲幸 日小田秀之



久住公民館

意見・質問等	意見・質問等への対応
平成24年8月の市議会だよりで、平成23年度には市税の滞納が3.09億円、固定資産税が1.78億円で、3,200万円を不納欠損処理したということだった。税金の徴収については、その後どうか。	平成25年度の市税全体の滞納額は2.90億円、固定資産税の滞納額は1.69億円、不納欠損処理の額は2,200万円と減少していますが、市として今後とも滞納処分(預金、給与等の差押など)を強化していくことと併せ、納税方法の利便性の確保と新たな滞納を増やさないための取組として、コンビニ収納の導入を検討しています。
奥豊後の踊りを楽しむ会がある。来年は会場が竹田ということで岡城が候補に挙がっている。高齢者の参加が見込まれるが、岡城まで上り下りが大変だと思う。車で登れる道路を整備してはどうか。	来年度(平成27年度)に、10人乗りの登城バスを走らせる予定です。竹田会場の開催場所については未定です。道路の整備は行いますが拡幅については、国指定の史跡であり、困難であると思われます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
<p>国の補助により、多くの人が竹田に住んでいるようだが、定着率は把握しているのか。補助の期間が過ぎたら、出ていくという事例もあるのではないかな。</p>	<p>地域おこし協力隊は、平成26年度18名が採用され、任期が3年となっているため、結果はまだ出ていません。全国では6割程度の定住率となっています。その他、国の補助事業として青年就農給付金制度があり、14名(市内10名、市外4名)が定住しています。今後とも移住定住の支援制度等を更に充実させ、定住促進に向けた取組を進めていきます。</p>
<p>2020年には竹田市の人口は20,413人に、また高齢化率は48.08%になると予測されている。 議員の定数や公共施設など、今後の人口減や高齢化率を考えながら決めてほしい。</p>	<p>人口の減や高齢化の現状も視野に入れ、市民ニーズに適った施設の規模や機能について、基本構想作成の中で協議しています。また、後年度の財政状況も考慮し、財政計画も含めて、予算特別委員会・主要公共施設調査特別委員会で議論を深めていきます。 なお、議員定数については、議会改革調査特別委員会の中で検討しています。</p>
<p>久住は山間地で大型の機械が入らないところが多く、小作をしてくれる人がいない。そのような場所にどう対処していくのか。 水路を補修する場合、多くの場合2～3名以上の受益者がいないと補助事業の対象とならない。しかし、その上流は1人で管理しないといけない水路もある。そういった所に補助金の活用はできないものかな。</p>	<p>農業基盤整備促進事業が平成26年度に創設されました。定額の場合、区画整備は反当10万円を支給し、定率の場合10%の負担で農道、水路の整備ができます。 地域条件により対応が変わりますので、市役所農林整備課へご相談いただきたいと思います。</p>
<p>議会等ではPDCAが回っているのか。 大型の案件で、行政の方から案件が出て、議決し実行に入る。それが予定通り執行されているか、当初目標としていた効果が出ているか、それをどう評価するのか、もし上手くいっていないならどういう風に修正するのか。 図書館建設計画の一貫性、行政から出された計画が途中で変更されたことが当初の目的からずれていないか。議会としてきちんとチェックしてもらいたい。</p>	<p>主要公共施設調査特別委員会において、図書館、文化会館、直入荘、コミュニティセンターの、4事業について、目的、効果、予算等を集中して審議しています。 図書館建設においては当初計画と変更があり、特別委員会において審議した上で、執行部へ申し入れを行ったものです。 今後は更に審議を重ねながら、PDCAを基本とし実施されるようにチェックします。竹田市議会基本条例第7条に謳われているように、議会としての監視及び評価をしていきます。</p> <p>・P…Plan(計画) ・D…Do(実行) ・C…Check(評価) ・A…Act(改善)</p>

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・本会議の傍聴やケーブルテレビ放映で観ていますが、オール与党であります、最近鋭い質問が見受けられます。今後も事前調査を密にし、積極的な提言をしていただきたい。
- ・5年、10年先を見越した、数値目標を入れた提案や審議。
- ・市民に対して力を貸してほしい、相談に耳を傾けてほしい。鋭意頑張ってください。
- ・若者が定着する市づくりを考えてほしい。そのために、空き家の利用を考えると良いのではないですか。
- ・素晴らしい久住を信じていましたが、最近、久住が見えてこないのが淋しい。

【意見・希望等】

- ・市民の方の意見がよく考えられていて、考えさせられました。
- ・大船登山道の推進を、今一度進行するよう検討してください。

直入

Naoiri

直入 地域

日時 ■平成26年11月12日(水) 午後7時～

参加議員



岩屋 千利 (班長) 佐藤 美樹 渡辺 克己 佐田 啓二 加藤 正義 和田 幸生



直入支所

意見・質問等	意見・質問等への対応
議長車は必要なのか。	議会改革調査特別委員会の中で、引き続き運行形態等を調査し、民間委託等様々な形態を検討します。当面、使用可能な状態まで継続し、廃車時期に、エコカーへの変更も含め検討します。
久住高原牛と豊後牛の定義がわかりにくい。区別の必要があるのか。	竹田市内で生まれ育った和牛雌牛で、肉質3等級以上である事が久住牛の定義ですが、肥育業者が肥育素牛を豊肥家畜市場において購入する事から、生産者には高価販売の取引が見込まれます。
山林の管理を徹底してほしい。竹田の財産である水質の保全につながる。名水の竹田を守ってほしい。	森林が水源涵養の役割を果たしています。竹田市では、林業労働者の高齢化が著しく、造林未済地の増加で水源涵養機能の低下が懸念されています。現状では、国の補助事業として「水源涵養の森づくり事業」があります。国・県の補助率が73%で、「広葉樹造林対策」に市15%、「鳥獣害防止対策」に市が13%の上乗せ補助をし、森林整備等の経費の助成を行っています。今後も、健全で活力ある森林の維持造成を図るよう要望します。
芹川ダムの水質についての新聞記事があった。イメージダウンにつながるのではないかと、心配している。市として対策はあるのか。	芹川ダムの水質対策連絡協議会を中心にして、大分県との連携を図りながら、プランクトンの抑制や生活排水等の污水対策をはじめとする取組が進められています。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- 市政に対する質問を議会で、ケーブルテレビでよく見ますが、質問も大切に重要と思います。しかし、提案も執行部にしてもらいたいです。
- 政策提言は大変良いと思いますが、執行部と連携し、実行する方向で進めてもらいたい。
- できることから、ひとつずつ実行できる施策を。
- 市政の厳しい監視。

【意見・希望等】

- 年々、参加者が減少傾向にあるよう思われます。直入地域の住民が、もう少し前向きな姿勢があれば、地域の活性にも期待できるのではと思います。
- 先進地研修や議会でのあらゆる研修内容等も議会だよりに掲載してみてもは。市民も勉強になるのではないのでしょうか。
- 竹田市農林業の活性化に向けた提言について、5点の中に林業について無いが、本当に考えているのだろうか？
- エコパーク構想の説明会を。また、これと新生竹田市のまるごと博物館(あるいはエコミュージアム構想)との関連は？
- このような催しに市民の参加は多くないと思いますが、息長く続けていただきたいと思います。